SONY

3-856-959-**07** (2)

TV(1-3ch)•FM/AM PLLシンセサイザーラジオ

取扱説明書•保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください

ICF-M260

* 3 8 5 6 9 5 9 0 7 * (2)

品　名	**ラジオ**
型　名	ICF-M260
保証書	T10-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口 フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥**0120-333-020**
携帯電話･PHS･一部のIP電話･**0466-31-2511**

修理相談窓口 フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥**0120-222-330**
携帯電話･PHS･一部のIP電話･**0466-31-2531**

※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389
受付時間
月～金：9:00～20:00
土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

主な特長

- 安定した受信ができる、PLLシンセサイザー採用のFM/AMポータブルラジオ。
- FM/TV(1-3)5局、AM10局、合わせて15局の放送局を記憶させること(プリセット)ができます。いったんプリセットしておけば、あとはプリセットボタンを押すだけでワンタッチ選局ができます。
- アナログラジオ感覚でつまみを回して簡単に選局、周波数はデジタル表示されます。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  ー温度が非常に高い所(40℃以上)や低い所（0℃以下）。
  ー直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  ー風呂場など湿気の多い所。
  ー窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  ーほこりの多い所。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2､または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。
  このときは、ソニーの相談窓口または、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- イヤホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口、ソニーサービス窓口に相談してください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、次のことをお調べください。

ボタンを押しても動作しない
　➔ホールド機能が働いている
　ホールドボタンを押して、ホールド機能を解除する。

表示窓の文字や記号が薄くて見にくい
　➔乾電池が消耗している
　➔極端に暑い場所や寒い所で使っている

雑音が多く、音が悪い
　➔乾電池が消耗している
　➔電波が弱い
　建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。

プリセット選局しても、聞きたい放送局が受信できない
　➔間違った番号のプリセットボタンを押している
　➔プリセットした記憶が消えている
　もう一度、プリセットボタンに局を記憶させてください。
　➔地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

表示窓に「⊂⊃」が点滅し、音が出ない
　➔乾電池が消耗している

万一故障した場合は、内部を開けずにソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは　この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは　ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は　保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は　修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能時期とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

時計表示　12時間表示

周波数範囲

バンド	周波数範囲	周波数ステップ
FM/TV1-3*1	76.0～90.0 MHz (TV 1－3ch)	0.1 MHz
AM	531～1,710 kHz	9 kHz（日本国内、その他の国々）
FM	76.0～108 MHz	0.05 MHz
AM	530～1,710 kHz	10 kHz（北米、南米の国々）

スピーカー	直径6.6 cm、丸型 4Ω　1個
出力端子	🎧（イヤホン）端子（Ø3.5 mm ミニジャック）
実用最大出力	120 mW(JEITA*2)
電源	DC 3 V、単3形乾電池2本
最大外形寸法	約130×80×31 mm（幅/高さ/厚さ）（JEITA）
質量	約260 g（乾電池含む）

*1 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

*2 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

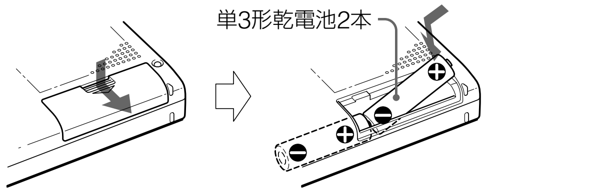
イヤホン（1）
ソニー単3形乾電池（お試し用*）(2)
取扱説明書・保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

▶準備する

乾電池を入れる



1　**電池入れのふたを開ける。**

2　**乾電池を入れる。**
はじめて乾電池を入れると、表示窓に「AM12：00」が点滅します。点滅を止めるには、おやすみタイマー/時刻合わせボタンを押します。時計を合わせるときは、「時計を合わせる」をご覧ください。

3　**ふたを閉める。**

乾電池の持続時間 (JEITA*)　　（単位：約 時間）

放送の種類	FM (TV1-3ch)	AM
ソニー単3形 (LR6) アルカリ乾電池	45	62
ソニー単3形 (R6) マンガン乾電池	17	23

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

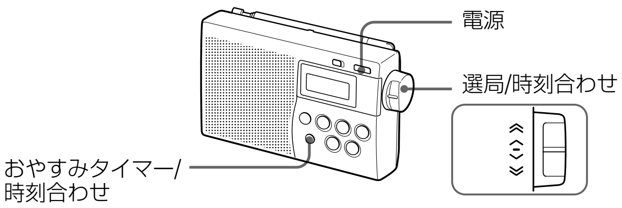
乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、音が小さくなったりひずんだりします。また表示窓に「⊂⊃」が点滅します。そのときは、2本とも新しい乾電池に交換してください。

- 交換するときは、電源を切ってから60秒以内に入れ換えてください。電源が入ったまま交換したり、交換中60秒以上経過すると、現在時刻やプリセットした局の記憶が消えてしまいます。そのときはもう一度設定し直してください。
- 交換後「⊂⊃」の点滅を消すには、電源ボタンをもう一度押します。

裏へつづく➔

時計を合わせる



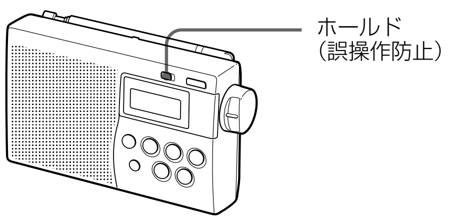
1 **電源ボタンを押して、ラジオの電源を切る。**

2 **おやすみタイマー/時刻合わせボタンを押したまま、選局/時刻合わせつまみを回して、時刻を合わせる。**
︿に合わせると時刻が進み、﹀に合わせると戻ります。さらに回して︽または︾に合わせると速く変わります。

3 **おやすみタイマー/時刻合わせボタンから指を離す。**
表示窓の「：」が点滅を始め、時計が動き出します。

- 秒まで正確に合わせるには電話の時刻サービス(117番)が便利です。
- AMは午前、PMは午後です。
  AM12:00 = 真夜中　PM12:00 = 正午

誤操作を防ぐーホールド機能



ホールドボタンを押して表示窓に「⊶」を点灯させます。
すべてのボタン操作を受け付けなくなり、不用意に電源が切れたり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防ぐことができます。

ホールドを解除するには

ホールドボタンをもう一度押して表示窓の「⊶」を消します。

海外でAM放送を聞く
ー周波数ステップ(間隔)の切り換え

受信する周波数ステップ（間隔）をお使いになる国に合わせて切り換える必要があります。
工場出荷時、このラジオは9 kHzに設定されています。

地域	周波数ステップ
北米、南米の国々	10 kHz
日本国内、その他の国々	9 kHz

AM周波数ステップを切り換えると、プリセット番号に記憶しておいた放送局が消え、時計表示は初期状態に戻ります。

1 **電源ボタンを押してラジオの電源を切る。**

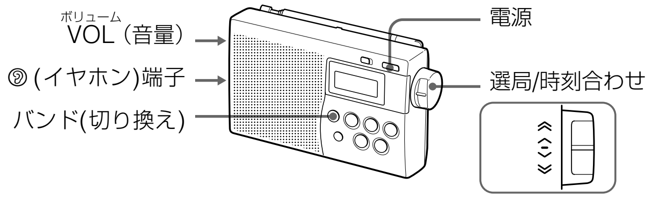
2 **おやすみタイマー/時刻合わせボタンを押しながら、電源ボタンを約5秒以上押したままにする。**
表示窓に「AM 12:00」が点滅し、周波数ステップが切り換わります。
元の周波数ステップに戻すには、手順2をもう一度行なってください。

ご注意

- 海外でFM放送を聞く場合はAMの周波数ステップを10 kHzに切り換えてご使用ください。
- AMの周波数ステップを「10 kHz」に切り換えるとTV音声の受信および日本国内（9 kHzステップ地域）でのAM放送の受信はできません。

▶ラジオを聞く

放送局を受信する
ーマニュアル選局（手動選局）



1 **電源ボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**

2 **バンドボタンを押してAM1、AM2 またはFM/TV1-3を選ぶ。**
押すたびにバンド表示が次のように変わります。

AM1*→ AM2*→ FM/TV1-3

* AM1とAM2は放送局をプリセットボタンに記憶しておくときに使います。ラジオを聞くときには、どちらに合わせても同じです。(「いつも聞く放送局を記憶させて聞くープリセット選局」参照)

3 **選局/時刻合わせつまみを回して選局する。**
受信周波数が自動的に変わり始めます。︿に合わせると数字が進み、﹀に合わせると戻ります。さらに回して︽または︾に合わせると速く変わります。放送局を受信すると、放送が聞こえます。
AMの周波数ステップ「9 kHz」を「10 kHz」に切り換えるとFMでは0.1 MHzステップから0.05 MHz*ステップに変わります。
* 周波数は0.1 MHz単位で表示されます。
（例：88.00 MHz のときも88.05 MHzのときも「88.0 MHz」と表示されます。）

4 **VOLつまみで音量を調節する。**

イヤホンで聞くには

端子にイヤホンをつなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。

TV（1-3ch）放送を聞くときは

バンドボタンを押してFM/TV1-3を選び、選局/時刻合わせつまみを回してテレビのチャンネルを選んでください。

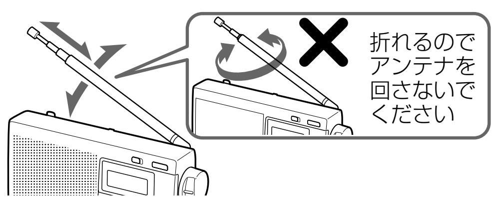
電源を切るときは

電源ボタンをもう一度押します。

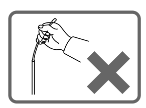
受信状態を良くする

FM放送の場合

ロッドアンテナをのばし、最も良く受信できる長さと角度を調節してお聞きください。

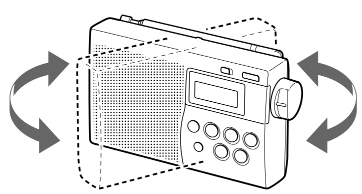


ロッドアンテナの角度を調節するときは、付け根の部分を持ってください。先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。



AM放送の場合

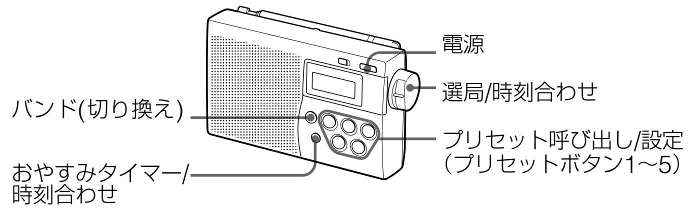
AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。



地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く
ープリセット選局

いつも聞く放送局をAM1、AM2に各5局とFM/TV1-3に5局、合わせて15局まで記憶させることができます。聞くときは、プリセット呼び出し/設定ボタンを選ぶだけで受信できます。



記憶させるには

1 **電源を入れる。**

2 **バンドボタンを押して、AM1、AM2またはFM/TV1-3を選ぶ。**
AMの場合はAM1とAM2のどちらか記憶させたい方を選びます。

3 **選局/時刻合わせつまみを回して記憶させる放送局を選ぶ。**

4 **記憶させたいプリセット呼び出し/設定ボタン（1〜5）を選んで「ピピッ」と音がするまで押したままにする。**
受信している周波数が記憶され、表示窓にプリセット番号が表示されます。

例）プリセットボタン「2」にFM放送の90.0 MHzを記憶させたときの表示



記憶させたい放送局ごとに2〜4の手順を繰り返します。

記憶させた放送局を変更するには

手順2からやり直してください。
前に記憶させた放送局は消えます。

記憶させた放送局を聞くには

1 **電源を入れる。**

2 **バンドボタンを押して、聞きたい放送局を記憶させてあるバンドを選ぶ。**

3 **聞きたい放送局を記憶させてあるプリセット呼び出し/設定ボタン(1〜5)を押す。**

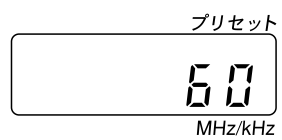
4 **VOLつまみを回して音量を調節する。**

ラジオを聞きながら眠る
ーおやすみタイマー

設定時間（60分）が過ぎると、自動的に電源が切れます。

1 **電源を入れ、聞きたい局を選ぶ。(「ラジオを聞く」参照)**

2 **おやすみタイマー/時刻合わせボタンを押す。**
周波数表示が動作時間表示「60」に変わり、タイマーがスタートします。動作時間表示が1分ごとに少なくなり、60分後に自動的に電源が切れます。



おやすみタイマーを解除するには

電源をいったん切って、もう一度入れます。

ご注意

- おやすみタイマーの動作中に、おやすみタイマー/時刻合わせボタンをもう一度押すと、タイマー設定時間は再び60分に戻ります。
- おやすみタイマーの動作中にも、ラジオの操作をすることができます。操作中は、表示窓に周波数が表示され、操作が終わると3秒後におやすみタイマーの動作時間表示に戻ります。